

for

これからますます
いきいきと輝くために

your

life

更年期を迎えたあなたへ

HRT

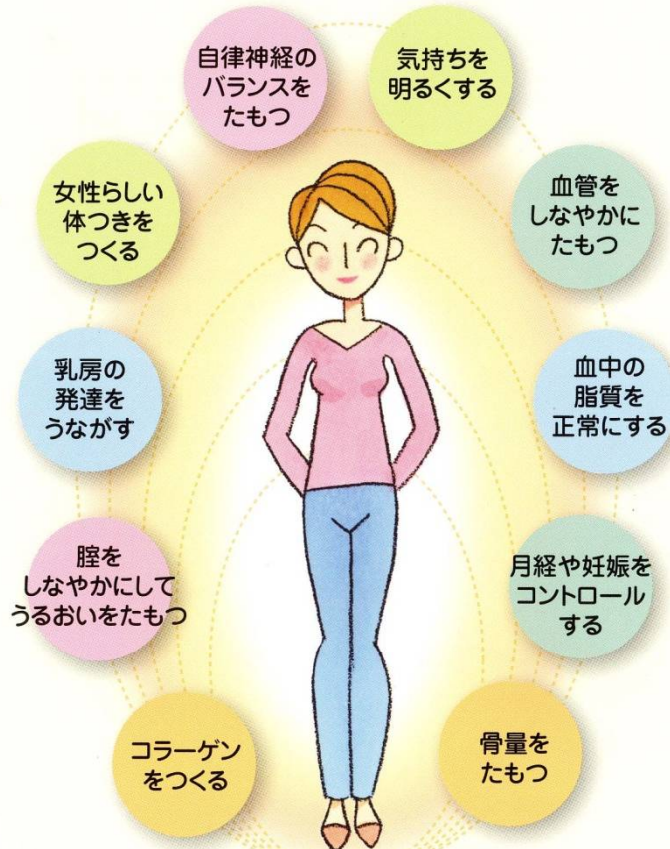
がお手伝い



エストロゲンの働き

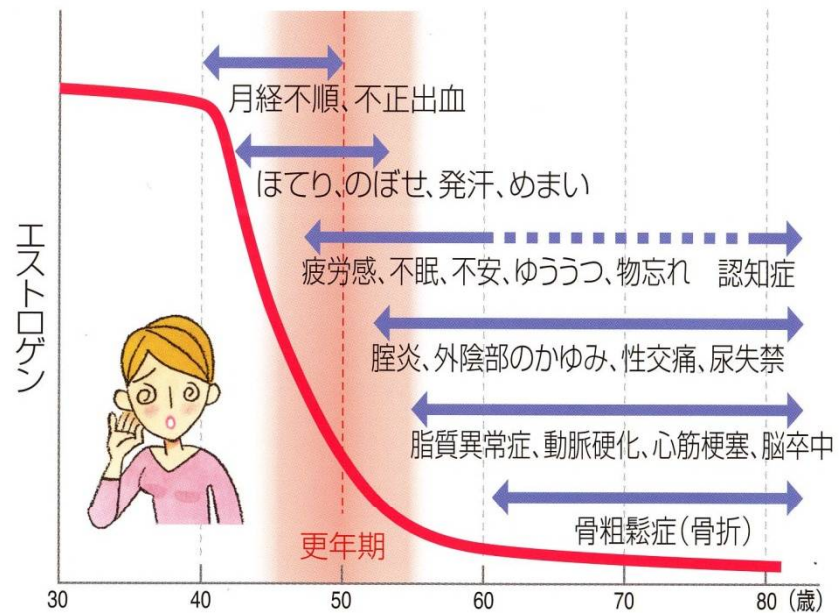
エストロゲン(卵胞ホルモン)には、月経や妊娠などをコントロールする以外にもいろいろ②大切な働きがあります。

エストロゲンの働き



エストロゲンの低下による諸症状

卵巣の働きが衰える更年期ごろから、エストロゲンが急激に低下してさまざまな症状があらわれます。



*これらの症状は、生活環境や心理状態にも関係するため、感じ方や症状の種類、発症年齢などには個人差があります。

ホルモン補充療法(HRT*)は不足したエストロゲンを補う治療法です。

※HRT:Hormone Replacement Therapy

HRTのメリット

HRTの目的には、①更年期障害の治療と②更年期以降に起こる症状や病気の予防があります。③
HRTをはじめると、さまざまな効果があらわれます。生活の質(QOL:Quality of Life)の向上も期待できます。



ほてり、のぼせ、発汗の改善

HRTによって、
一部のがん(大腸がんなど)のリスクが減るともいわれています。



イライラ、不安、
ゆううつ
などの軽減

関節痛や
手足の痛みの改善

皮膚コラーゲン量
の増加
(保湿効果)



脂質代謝の改善

腔乾燥感、性交痛の緩和

記憶力低下の
緩和

血管を
しなやかにする

頻尿の緩和

睡眠障害の改善



骨量増加(骨折予防)



HRTの実際

HRTにはいろいろなお薬や使い方があります。

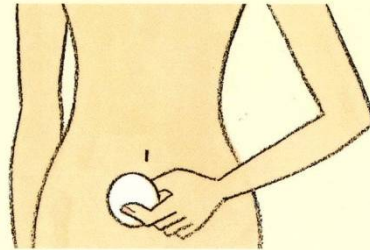
④

飲み薬



胃腸から肝臓を経由して成分が吸収され、効果を発揮します。

貼り薬・塗り薬



皮膚から直接成分が吸収されるため、吐き気などの胃腸症状や肝臓への影響が少ないといわれています。

腔錠

腔乾燥感や性交痛など腔の症状に限定している場合に、腔に挿入して使います。

いろいろ
選べるの
ですね。



※休薬する方法もあります

子宮を摘出された方は、エストロゲンだけでHRTを行います。その他の女性は、子宮内膜がん予防のために、通常は黄体ホルモンと一緒に使います。

memo

出血の特徴

HRTを始めると性器出血がみられることがあります

周期的併用投与方法では、定期的に月経のような出血がみられます。(黄体ホルモン服用終了数日後に出血することが多い)

持続的併用投与方法では、HRT開始初期に不正出血がありますが、続けるうちに不規則な出血は減っていきます。



HRTの検査スケジュール

更年期以降の女性は、子宮内膜がん、卵巣がん、乳がんや生活習慣病などが多くなる世代です。HRTの際の定期検診が病気の早期発見・治療にもつながります。⑤

治療前

定期的に受診

年に1~2回程度



安全に
HRTを行うための
検査です。

- 問診
- 血圧
- 身長、体重
- 血液検査（血算、肝機能、脂質など）
- 子宮・卵巣検査
（細胞診、組織診、超音波検査など）
- 乳房検査

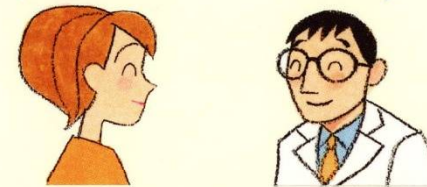
この他に、骨量測定や心電図、心理テストなどの検査を行うこともあります。
（医療施設によって、検査の種類は若干異なります。）



定期的に受診し、心配なことや
気になることがあるときは
主治医に相談しましょう。

とても調子が
いいです。

検査にも問題ありませんので、
続けてみましょうか。



HRTを続けるかどうかを
主治医といっしょに決めましょう。

- 治療効果を検討
- 血圧、身長、体重、血液検査
（血算、肝機能、脂質など）
- 子宮・卵巣検査、乳房検査（1年に1回程度）

memo

HRTとがん

乳がんは、5年未満のHRTならば、乳がんを発症するリスクにほとんど影響しません。

子宮内膜がんは、エストロゲン剤と一緒に黄体ホルモン剤を使っていれば、リスクにほとんど影響しません（子宮のある女性の場合）。
HRTを受けている間は定期的な乳房と子宮の検査を行います。

※HRTを5年以上継続する場合は、乳がんのリスクが高まることと治療効果を再検討し、継続することも可能です。



より安全にHRTを受けて
いただくには定期的な検査が
とても大切です。

これなら
安心ですね。



HRTでご注意いただきたいこと

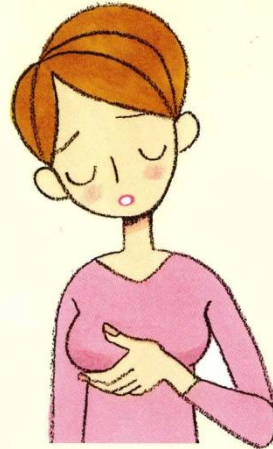
⑥



以下のような症状があらわれることがあります。しかし、HRTを続けるうちに自然におさまる方もいますし、薬の種類や使い方、量を変えて対応することもできます。このような症状が現れても自分の判断で薬をやめたりせず、早めに主治医にご相談ください。

不正出血※やおりもの、
乳房の痛みや張りなど

※少量～月経(生理)様の
不規則な出血



吐き気や
むかつきなど

皮膚のかゆみ、赤みなど
(貼り薬、塗り薬の場合)

memo このような症状があらわれたら

呼吸困難、
じんましん、
ふらつき

アナフィラキシー様症状

局所の痛みや圧痛、
静脈上の皮膚の赤みや変色、
下肢の痛みや腫れ

静脈血栓症、血栓性静脈炎



このような症状が現れたときは
重い副作用の初期症状かもしれ
ませんので、薬の使用を中止し、
すぐに主治医にご連絡ください。



メノエイド®コンビパッチの使い方

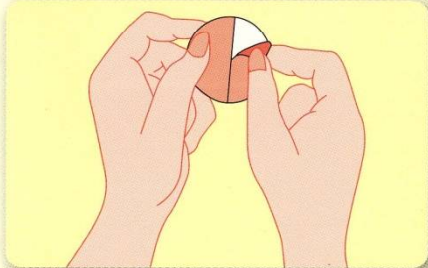
1 薬を取り出す



●袋の切り口を手で破り、中から薬を取り出してください。

⚠ ハサミは使わないでください。

2 台紙をはがし、薬をお腹(下腹部)に貼る



●透明な硬い台紙の片方(半円形)をはがしてください。はがした部分の薬を下腹部に貼りつけます。もう片方の台紙をはがしながら、全体を下腹部にしっかりと貼りつけてください。

⚠ 貼りつける場所を清潔にし、水分もしっかり取り除いてください。

3 手のひら全体で押さえる



●手のひらで全体を押さえて、薬のフチの部分もきちんと貼りつけてください。

⚠ 貼ってはいけない場所

- ・ベルトや下着のゴムがあたる場所
- ・傷や皮膚の荒れがある場所
- ・乳房

ご使用時の注意

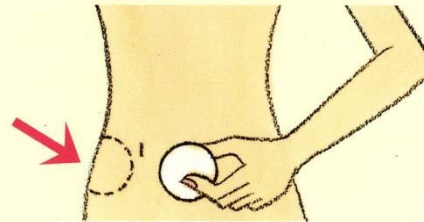
●「貼りかえ日」を決めて週2回、下腹部に貼付します。



●入浴直後は貼らないでください。⑦



●貼りかえるときは、前回と別の場所に貼ってください。



●切って使わないでください。



●貼ったままで入浴できます。

Q & A

Q 貼りかえるのを忘れたときは?

A 気がついた時点ですぐに貼りかえてください。

Q もし、はがれてしまったら?

A その薬をもういちど貼るか、必要に応じて新しい薬を貼ってください。

Q かゆくなったり赤くなったりしたときは?

A 貼る場所をかえてみてください。それでも、何度もかゆくなったり赤くなったりするようでしたら、主治医にご相談ください。




今日から笑顔で。

メノエイド[®]コンビパッチによるHRTを受けられない方

- エストロゲン依存性腫瘍（たとえば乳がん、子宮内膜がん）およびその疑いのある方
- 乳がんの既往歴のある方
- 血栓性静脈炎や肺塞栓症のある方、またはその既往歴のある方
- 動脈性の血栓塞栓疾患（たとえば、冠動脈性心疾患、脳卒中）の方、またはその既往歴のある方
- 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある方
- 妊娠している方、妊娠の可能性のある方、および授乳中の方
- 重篤な肝障害のある方
- 診断の確定していない異常性器出血のある方
- ポルフィリン症の方



 あすか製薬株式会社